

DTCCと野村総合研究所がポストレード業務の更なる自動化と効率化の実現のためにパートナーシップ契約を締結

両社の取り組みは、米国市場の決済期間短縮化(T+1化)に向けた準備を進める業界の方向性とも合致

ニューヨーク/ロンドン/香港/シンガポール/シドニー、2023年5月23日 – グローバルにポストレードソリューションを提供する Depository Trust & Clearing Corporation (DTCC) は、野村総合研究所 (NRI) とともに、本日、現物有価証券取引において両社のシステムを直結させた形でのセントラルマッチング機能を提供すると発表しました。

NRIは、日本の金融機関に様々な金融サービスを提供しています。このパートナーシップによって、日本の金融機関は、NRIのSmartBridge Advanceを通じて、DTCCのCTMで有価証券取引の照合を一元的に実施し、より短時間かつ効率的に照合業務を実施することができます。更に、DTCCのALERT(1,400万件以上を保持する世界最大の決済情報(SS)データベース)におけるSSI添付機能や、Settlement Instruction Manager (SIM)における決済指図送信機能を利用することで、照合後の決済指示における情報の正確性を担保し、決済リスク軽減を図ります。

これまで、取引相手である証券会社側では、DTCCとNRI双方の照合システムを確認する必要がありましたが、今回のパートナーシップによって、一つに統一されたプラットフォームで管理できるようになります。また、2024年5月28日に予定されている米国市場のT+1化に向け業界全体でシステム対応が求められている中で、より自動化(STP化)されたシステムで業務を実施する事が出来るようになります。

DTCCのCTMは、業界に対する責任を果たすべく運営されており、国内外の株式及び債券の現物有価証券取引における約定照合を可能にし、約定後のアロケーション及びコンファメーション業務の自動化を実現します。資産運用会社側では、CTMでの照合項目の個別設定を行うことで、約定から決済までのシームレスなシステム連携が可能になります。CTMは、投信投資顧問会社、ヘッジファンド、プライベートバンク、アウトソーサー等様々な業態の資産運用会社、並びに証券会社が約定情報の詳細を効率的に照合できるようにします。また、Settlement Instruction Manager (SIM)を用いる事で照合後の決済指図をカスタディアンや決済関係者に送信することで、決済指図業務のSTP化も実現できます。CTMを導入することによって、複数市場の資産におけるポストレード業務を一つのプラットフォームで行う事ができるだけでなく、平均して95%の同日約定一致率を誇るシステムで業務の効率化を達成できます。

ITP部門のグローバルヘッドを務めるヴァル・ウォットンは、以下のように述べています。「NRIとのパートナーシップの締結により、日本のお客様に対して、両社のシステムを直接連携したセントラルマッチングサービスを提供できることを嬉しく思っています。国内の金融機関のお客様の約定から決済までの業務時間の短縮化に貢献する事は、米国市場のT+1化に影響する全世界の金融機関が対応を進めている中、これまで以上に重要な事と捉えています。CTMは、世界52か国で利用されているCTMの自動化されたセントラルマッチングサービスとして、何千もの約定照合関係者とシームレスにつながり、決済ファイナリティを迅速に達成することができます。」

現在CTMのグローバルコミュニティは3,300社以上に広がっており、その中には1,900社以上の資産運用会社と1,400社以上の証券会社並びに120社以上のカスタディアンが

お問合せ先

DTCC
マディハ・アルサラン
+1 813 470 2217
marsalan@dtcc.com

米国
エリック・ハザード、ヴェステッド
+1 917 765 8720
eric@fullyvested.com

欧州
インドラ・ヘッサント、グリーンターゲット
+44 (0) 203 307 5723
indre.hessant@greentarget.co.uk

アジア太平洋
コリー・リー、DTCC
+65 68058033
clee2@dtcc.com

日本
小林 誠二、DTCC ジャパン
+81 3 3519 1610
dtccjapan_srm@dtcc.com

追加情報

[Institutional Trade Processing](#) について詳しく知る

[CTM](#) について詳しく知る

[ALERT](#) について詳しく知る

[SIM](#) について詳しく知る

ヴァル・ウォットンの[経歴](#) および[写真](#)をダウンロードする

ソーシャルメディア

[LinkedIn](#)

[Twitter](#)

[YouTube](#)

[Facebook](#)

[Instagram](#)

含まれており、複数資産と市場の現物有価証券取引のセントラルマッチングプラットフォームとして業界標準の立場を高めております。

###

編集者向け注記

DTCC について

DTCC は、グローバルな金融サービス業界を対象として 50 年にわたる豊富な経験を持ち、プレミアムなポストトレードの市場インフラを提供しています。弊社は世界中に 20 カ所の拠点をもち、弊社子会社を通じて、金融取引処理の自動化、一元化、および標準化のためのインフラの提供を通じ、数千社におよぶブローカー／ディーラー、カストディアン銀行、および資産運用会社等のお客様のリスク軽減、透明性向上、および効率性向上に貢献しています。弊社は、業界に対する責任とガバナンスに基づいて運営され、様々な資産クラスにわたり、精算、決済、資産運用、データ管理、データ報告、および情報サービスにおける業務プロセスを簡素化することで、金融市場の安全性および健全性向上に寄与しています。DTCC の各子会社が 2022 年度に処理した証券取引の市場価値は、およそ 2,500 兆ドルに達します。また、弊社のデポジトリ部門は、150 以上の国および地域で発行される証券に対してカストディおよび資産運用サービスを提供しており、その時価総額は 72 兆ドルに上ります。DTCC のグローバル取引レポジトリサービスは、各国で登録され、営業許可を受け、または承認された取引レポジトリを通じて、年間 175 億件の取引メッセージを処理しています。詳細については、弊社ウェブサイト (www.dtcc.com) をご覧になるか、[LinkedIn](#)、[Twitter](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、および [Instagram](#) の弊社アカウントをご参照ください。

株式会社野村総合研究所について (<https://www.nri.com/jp/>)

野村総合研究所 (NRI) は、1965 年に日本初の民間シンクタンクとして誕生して以来、長年にわたり、企業戦略の提案や政策提言、システム開発・運用を行ってきました。「新しい社会のパラダイムを洞察し、その実現を担う」「お客様の信頼を得て、お客様とともに栄える」を企業理念に掲げ、「コンサルティング」「金融 IT ソリューション」「産業 IT ソリューション」「IT 基盤サービス」の 4 事業を通じて、国内外の企業・行政の活動や、社会・暮らしを支えています。グループ従業員数は 17,000 人を超え、世界 16 か国・地域でグローバルに事業を展開しています。

- 以上